

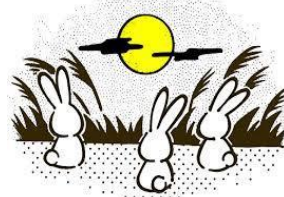


百年桜



実りの多い2学期に

40日間の長い夏休みが終わり、静かだった学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。子どもたちの笑顔には、夏休みを楽しく過ごした充実感と2学期への意欲があふれているように感じました。



夏休み中に、普段学校ではできない体験や学び、家族とのふれあいをもち、たくましく成長したこと、また、大きな事故やけがの報告もなく、無事に2学期の始業式を迎えられたことを大変うれしく思います。

始業式では、「自分を伸ばす2学期にしてほしい」と話しました。そのために、凡事徹底、思いやり、好奇心が大切になることを伝えました。また、みんながつながるために、聴くこと、伝えることを大切にし、協力する楽しさを感じてほしいと話しました。

「実りの秋」として、稲穂や果実の実りのように、子どもたちが努力して取り組んだこと、頑張ったことが実を結び、子どもたちの力を「伸ばすこと」ができ、

「できることが増えた」2学期になるよう、職員一丸となって指導にあたります。

引き続き、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきますよう、お願いいたします。



自律できるたくましさを

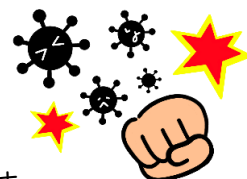
8月に入ってから連日、日本各地で豪雨による被害の報道がありました。「過去に経験したことない大雨」が毎年のように降っています。また、新型コロナウイルス感染症も高いレベルでの感染が継続しており、先が見えない状況が続いています。

子どもたちは、「先行き不透明」「予測困難」などと表現される「答えなき時代」を生きていきます。そこで必要となる力が「生きる力」であり、「正解のない問いに立ち向かう力」「主体的に考える力」「仲間と知恵を出し合い解決する力」が重視されています。

本校は、令和元年度に学校教育目標を「かがやくひとみ ～自律できるたくましさを育む～」とし、お互いを認め、理解し合うとともに、自分で判断し、行動できること、自己実現に向かって、ねばり強く努力できる子どもを育てることを重視してきました。また、学校運営協議会の皆さんと「自己肯定感」と「やり抜く力」をつける大切さを確認し、令和3年度から、めざす子どもの姿を「考える子」「がんばる子」「やさしい子」「きたえる子」としました。



子どもたちが生きる未来がどんな時代になっても、「幸せに生きて欲しい」。それが保護者の皆さんと我々教師の共通の願いだと思います。「子どもたちの強み」「どんな力を伸ばすか」などについて保護者の皆さんと共有し、学校教育目標の達成に努めていきます。



「学校の新しい生活様式」を踏まえ、教育活動を行っています。

ご家庭での健康管理をよろしくお願いいたします。

1 朝の検温、咳やのどの痛みの有無等、健康状態の確認をお願いいたします。

2 風邪症状がある場合は、登校を見合わせ、自宅で休養するとともに、医療機関への受診をお願いいたします。

※同居の家族に風邪症状がみられる場合も登校は控えてください。

3 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を心がけるようご指導ください。